



配膳の準備をする給食当番

# 初めての給食 // いただきます //

4月18日、市内の小学校で1年生の給食が始まり、給食を楽しみにしていた子どもたちの元気な声が教室内に響きました。



「いただきます」をする子どもたち(美濃山小学校)

この日の献立は、カレーライス、牛乳、コーンのサラダ、いちごです。エプロンを身に付けた給食当番の子どもたちは、先生に教えてもらいながら、協力して給食を準備。食缶や食器を教室まで運んでサラダやいちごを慎重にお皿に盛り付け、みんなの席に配っていました。

給食が行き渡ったら、手を合わせてみんなで「いただきます」。子どもたちは待ちに待った給食を、みんなとおしゃべりしながら楽しそうに食べていました。また、教室を訪れた調理員が「おいしいですか?」と聞くと、「おいしい!」と元気な声で返事。おかわりをしたり、残さず食べたお皿をみんなで見せ合ったりして、初めての給食に満足げでした。

つばきの一輪挿しを写真に収める来園者



## つばき尽くし満喫

4月1日~3日の3日間、「第28回松花堂つばき展」が松花堂庭園で開催され、1700人以上の来園者が趣向を凝らして飾られたつばきを楽しみました。

同展は、松花堂庭園・美術館などが毎年主催。庭園や屋内の展示会場が、200種を超える色とりどりのつばきで飾られました。

庭園では、つばきが扇や格子状に組み込まれた竹の花器などに飾り付けられ、周りに生える竹や草木などと相まって、風情のある景色が広がって

ました。屋内の展示会場では、一輪挿しやフラワーアレンジメントなど、さまざまな形でつばきを演出。また、つばきを模したお茶菓子や茶碗でのお茶会も行われ、来園者たちはつばき尽くしのひとときを満喫していました。

家族3人で訪れた佐々木信幸さん(54)は「つばきが生け花だったり、切り花だったり、扇形の竹の花器に飾られたり工夫がされていて、子どもも飽きずに楽しめました」と、にこやかに話していました。

## まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

## お雛さまにうつつり

東高野街道 旧暦桃の節句を散策

東高野街道沿いの民家の軒先などが雛人形で飾られる「八幡まちかど雛まつり」が4月1日~10日の10日間、旧暦の桃の節句に合わせて開催され、観光客らでにぎわいました。

このイベントは、たくさんの人に同街道を散策してもらおうと、魅力の発信などに取り組む「八幡まちかど博物館」が毎年主催しており、今年で5回目。同街道沿いの民家や商店、寺社など、54カ所が参加しました。



段飾りの雛人形を楽しむ来場者たち(飛行神社)



参道を練り歩く太夫

## 華やか「島原太夫道中」約30年ぶり開催

島原の太夫が従者を連れて練り歩く「島原太夫道中」が4月10日、石清水八幡宮で行われ、司太夫と長女の葵太夫が本殿までの参道を練り歩きました。

この島原太夫道中は、石清水八幡宮本社10棟が国宝に指定されたことを記念して行われ、同宮での開催は約30年ぶりとなりました。

三枚歯の高下駄を履いた太夫は、禿や傘持ちなどの従者を連れ、「内八文字」という独特の歩き方でゆっくりと参道を練り歩く島原太夫道中を披露。

本殿前の特設舞台では、太夫を紹介する「かしの式」や、太夫だけが舞うことができる「いにしえ」、祝いの場面でされる「鶴の声」といった舞が披露され、境内に詰めかけた多くの参拝者が、鮮やかな衣装を身にまとった太夫の華やかな舞に終始見入っていました。

また、太夫が点てた抹茶とお茶菓子を見物人にふるまう茶席も設けられ、幅広い年代の人々が趣ある茶席を笑顔で楽しんでいました。